

49回静岡総会進捗状況



開催日：2015年10月9日～10日

2015年5月5日現在

開催案内



集まろう、繋がろう、踏み出そう ふじのくに *Shizuoka2015* 大会テーマ 「人と動物福祉」

会 期 : 平成27年10月9日(金)～10日(土)
会 場 : グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)

参加費

- 事前登録
 - ✦ 会 員 6,000円
 - ✦ 非会員 8,000円
 - ✦ 学 生 3,000円
- 当日登録
 - ✦ 会 員 8,000円
 - ✦ 非会員 10,000円
 - ✦ 学 生 4,000円

懇親会

: グランシップ交流ホール

- 事前登録
6,000円
- 当日登録
8,000円

会場：グランシップ



- 受付・ポスター・器材展示・Wellbeing会場
 - 1階大ホール「海」
- A会場（総会会場）
 - 11階「風」
 - 10階会議B会場（評議委員会等）
 - 会議室「1002-2」
- C会場
 - 9階会議室「910」
- D会場
 - 10階会議室「1001-1」
- その他（ホスピタリティ等）
- 懇親会
 - 6階「交流ホール」

総会・評議委員会・理事会



- **総会**

- 1日目(9日)A会場 13:00~15:00

- **評議委員会**

- 1日目(9日)B会場 11:25~12:40

- **理事会**

- 8日 10階「1003」13:30~16:00

- **理事懇親会**

- 8日 静岡駅周辺 場所未定

学術企画について



静岡大会は「人と動物福祉」というサブテーマを設けています。動物福祉でも今までにあまりないアプローチから、「動物の福祉」を見つめ直す機会が参加して頂く方に感じて頂けるようにと考えます。

- 特別講演
- 静岡記念講演
- シンポジウム3件
- 教育講演2件
- 教育セミナー2件
- 静岡実験動物研究会総会及び特別講演
- サテライトアフタヌーンセミナー(8日午後15時から)

特別講演



1日目(9日)午前

静岡県立大学 富沢 壽勇 先生

(静岡県立大学 グローバル地域センター副センター長)

文化人類学がご専門で人類学の観点から、人と動物の関係をお話し頂きます。

同日午後のシンポジウム I と関連させ、「動物の生命」をテーマに進めていただきます。

静岡記念講演



2日目(10日)午前中

浜松医科大学 加藤 秀樹 先生

遺伝にかかわらず、実験動物学との関わりについて
ご講演頂ける予定です。

シンポジウム I



1日目(9日)午後

動物福祉についての社会学・倫理学からの考察(仮)

- 櫛島次郎 先生(東京財団研究員):社会学
- 佐藤 労 先生(藤田保健衛生大学):倫理学

:動物福祉に関して、社会学・倫理学から(仮)というテーマでお二人の先生にお話し頂きます。特別講演と同じ「動物福祉と人」をテーマに進めます。

シンポジウムⅡ



2日目(10日)午前

静岡実験動物研究会協賛

- 動物実験代替として、カイコ・ショウジョウバエ・ゼブラフィッシュをテーマに演者を調整中

シンポジウムⅢ



2日目(10日)午後

医療機器開発におけるブタの役割(案)

- 大和田一雄 先生 (ふくしま医療機器産業振興機構)
- 山岡哲二 先生 (国立循環器病センター生体医工学部)
- 大西 彰 先生 (日本大学生物資源科学部)

教育講演1



1日目(9日)午後

動物看護師と実験動物(仮)

- 古川敏紀 先生 (倉敷芸術科学大学)

:「統一動物看護師」の目的と求められる役割、国家資格へ向けての動きや動物看護師の実験動物への関わりについてお話し戴く予定です。

教育講演2



2日目(10日)午前

霊長類飼育のススメ(仮)

- 中村克樹(京都大学霊長類研究所)

NBR(ナショナルバイオリソース、ニホンザル)における動物施設におけるサル飼育の実際
マーモセットの飼育に関することもお願いしています。

教育セミナー



2日目(10日)午前

実践で役立つブタへの麻酔の基礎知識

- 酒井 俊和 先生 (藤田保健衛生大学)

丸ごとのイメージング～免疫細胞の動く世界の解析～(仮)

- 石井 優 先生 (大阪大学)

静岡実験動物研究会総会及び研究会



2日目(10日)午後

- 今大会は静岡実験動物研究会と共催です。
- 静岡実験動物研究会総会及び研究会も総会会期中に開催します。
- 実技協関係参加者も聴講できます。

サテライトアフタヌーンセミナー



〇日目(8日)午後

「3Rの推進 実験動物の苦痛管理と麻酔」

- 製薬企業における実験動物の苦痛管理への取り組み
渡邊利彦 先生(中外製薬株式会社)
- 大学における実験動物の苦痛管理への取り組み
金子司郎 先生(大阪大学)
- 三種混合麻酔薬の現在(メリットと今後の利用定着に向けての課題)
桐原由美子 先生(島根大学)

* 今大会からの試みで、大会前日(8日)に開催します。

* 10月8日16:00からを予定しています。

申込み受付



- 演題登録: 3月20日(金)～5月12日(火)

延長しました！

- 事前参加登録: 5月中に受付開始予定